



広報
となみ野

となみ野

通誌 第9号

発行

社会福祉法人手をつなぐとなみ野

〒932-0053 小矢部市石動町9番30号 / TEL・FAX(0766)68-3822

E-mail tonamino@bz03.plala.or.jp / http://www.tonamino.or.jp/

南天桐 お元気ですか

「ありがとう」を伝えました！



企業の袖と名刺を交換しました。
緊張したけれど、楽しかったです。
南部千晶



花はすをお父さんに
ありがとうございますと言ひ渡して
とても嬉しい気持ちになりました。大野カ

2月1日、就労移行支援事業所の南天桐では、となみ散居村ミュージアムにて『お元気ですか』を開催しました。南天桐を卒業し一般就労した方と、南天桐在籍利用者との交流ならびに就労意欲向上を目的に始まった『お元気ですか』。今年は平成24年度公益信託富山ファーストバンク社会福祉基金助成を受け、「感謝の気持ちを伝えよう」をサブテーマに盛大に開催しました。企業の方々から卒業生が頑張って働いている様子やあたたかい言葉をいただき、利用者と卒業生から感謝の気持ちを添えて、花鉢を贈りました。

あいさつの大切さ

理事長 穴田 清

去る一月の成人の日に行われた「手をつなぐ育成会となみ地域連合会」主催の「成人を祝い新春に語る集い」において新しく成人を迎えた人たちに「あいさつの大切さ」を話しました。

大人の仲間入りをして、これから地域の中で生活していくためには先ず、「あいさつ」のできる人にならなければなりません。人間は一人では生きられないのです。親や家族、親戚の人達ばかりでなく、地域の人々の支えと協力等があってはじめて生きられるのです。

ところが近年、物が豊かになり生活が便利になったこともあってか、人の支えや助けがなくても生きられると思っている人が意外と多くなっているように思われます。

人と人との心の繋がりは、たった一言「ありがとう」「すみません」と言う「あいさつ」によって出来るのです。

そんな簡単なことなら直ぐできると思う人もいるでしょうが、これがなかなか出来ないのです。自分は親や家族や多くの人々の支えや助けを受けて生かされているという思いをもち、それらの人々に感謝する気持ちがあつてはじめて心のこもった「あいさつ」が出来るのです。口先だけの「あいさつ」では心の繋がりは深まりません。

これから多くの人達の中で生活していかねばならないあなたたちには、なんとしても感謝の気持ちを持って「あいさつ」の出来る人になってもらいたいのです。

もちをついてみました。
重々かっただけです。
おもちはたいへん
あいしかっただけです。
篠島 信孝

せんべいをつけて、まるくしました。
せんふ、おいしかったです。高畠猛

活動報告
1

南砺事業所
ふれ愛 餅つき大会

2月2日、南砺事業所では、地域歳末たすけあい事業として助成をいただき、『地域交流ふれ愛餅つき大会』を開催しました。

餅をついたり、あずきやきな粉をまぶしたり、利用者と職員が一生懸命作りました。大勢の地域の方とふれあいながら食べるお餅は格別に美味しく、とても楽しい時間となりました。





活動報告 2

小矢部事業所 あけぼの第一 しめ縄作り

12月25日、福祉作業所あけぼの第一では、「野ぎくの会」の皆さまのご厚意により、しめ縄作りを教えていただきました。縄を編むところから飾り付けまで丁寧にご指導いただき、また、県幹部職員歳末たすけあい義援金をいただき、大変立派なしめ縄飾りが出来上がりました。

野ぎくの会の皆様、義援金にご賛同下さった方々に感謝申し上げます。

たのしかったです
川合政輝



またしめ縄作り
したいです
蟹谷義博



ありがとうございます
佐野大香



レポート 研修報告



平成24年度高齢者虐待対応研修会に参加して

共生型グループホーム らぶあけぼの
介護職員 小西 祐弘

11月12日、高齢者虐待対応研修会に参加し、①実践報告（富山県における高齢者虐待対応の現状と課題）②講義・演習（高齢者虐待を未然に防ぐためには～介護者支援に向けてのケアマネジメント視点～）について富山国際大学講師 相山馨氏、大阪市社会福祉研修情報センタースーパーバイザー 沖田裕子氏の研修を受講してきました。

平成18年高齢者虐待防止法施行されて以降、全国、富山県においても虐待に関する相談、通報件数も増加傾向であり、私達ケアマネジメント実践者ならびに地域、家族の方々にもより一層の虐待に関する理解（法の理解、虐待の理解、虐待の認識）、行政、関係機関の連携、地域ネットワークの構築、などが重要になってきます。高齢者虐待に対しては、発見した場合、通報が義務付けされました（通報から虐待に関する支援が始まる。また虐待の発見者は高齢者に関する福祉関係者が多い。）、通報に至るまでの過程で虐待であるか判断に迷う事や、経験・知識の不足から通報に至らない事もあるという現状と課題があるとの事。

虐待の対応については、緊急性を伴う事が多く、対応が不十分、不適切であると大きな問題に発展することも考えられるため、私達ケアマネジメント実践者は知識、虐待に関する法の理解を高め、他の関係機関、地域との連携の場で密接に情報交換、共有を図ることの重要性を感じました。

最後に研修を通じ、高齢者虐待の対応支援（「護る」）は、高齢者・虐待者ともに支援が必要であり虐待の知識・ソーシャルワークを高め、関係機関との連携・地域のネットワークを活用しながら適切な支援をしていかなくてはと思います。

活動報告 3

共生型グループホーム らぶあけぼの 新春かるた会

らぶあけぼのでは、新年を迎え、かるた遊びを行いました。身を乗り出してかるたをとる姿も見られ、とても集中した遊びとなりました。



た橋 様見者稚持は先んな又住る
いと今にらの拙參おのがつ 民每ニ出「・したばを植の
とな後報れ真なし礼器作て利とに年來ふ所た」と機え会のとけかのいに、
思るも告る面文まと用つき用少活
い様野し様目章ししさたて者し動三しささ
まにぎた子にでたてに「いのづ交年た。」とんクはずボ指に花流第年とえるる動的ラをて域で
す利くくを真す。驚キま家つ流と
用の書一撃け今住か「す。族大の年
者会き手にれ回民さ木。とき輪月
のがまを取ど原とれル交のくがを
方地しつりも稿一まダ流交な大重
々域た。な組係の緒し「の流つ谷ね、
とのぐみわ依にた。」際もて中
絆方と、る頼作をに出き学集
をとな弾行をつ私い利來てのう
深のみけ事受た達た用るい生回
め交野る毎けべもだ者よま徒数
て流「笑にた飾年きのうす、が
いのき懸の顔利のり末、皆に。地増
き懸皆が用も等に手さ 域え

が謡者でしけれのくワ方「あけ害現根を潤テ域づ
いと今にらの拙參おのがつ 民每ニ出「・したばを植の
とな後報れ真なし礼器作て利とに年來ふ所た」と機え会のとけかのいに、
思るも告る面文まと用つき用少活
い様野し様目章ししさたて者し動三しささ
まにぎた子にでたてに「いのづ交年た。」とんクはずボ指に花流第年とえるる動的ラをて域で
す利くくを真す。驚キま家つ流と
用の書一撃け今住か「す。族大の年
者会き手にれ回民さ木。とき輪月
のがまを取ど原とれル交のくがを
方地しつりも稿一まダ流交な大重
々域た。な組係の緒し「の流つ谷ね、
とのぐみわ依にた。」際もて中
絆方と、る頼作をに出き学集
をとな弾行をつ私い利來てのう
深のみけ事受た達た用るい生回
め交野る毎けべもだ者よま徒数
て流「笑にた飾年きのうす、が
いのき懸の顔利のり末、皆に。地増
き懸皆が用も等に手さ 域え

施設利用者と地域との交流

野ぎくの会

会長 河原 美耶子

言葉のかけはし

グループホームにグリル鍋を寄贈いただきました

高岡市民生児童委員杉本彰郎様のご厚意により、グリル鍋を頂戴しました。
寒い時期の鍋料理は心も体もあたたまります。それぞれのグループホームでは、
早速鍋を囲み、皆であたたかい鍋料理をいただきました。



となみ野利用者作品展開催

11月16日から12月13日の約1ヶ月間、『手をつなぐとなみ野利用者作品展』を砺波市福祉センター苗加苑にて開催しました。

絵画教室で描いた絵や共同作品など、日頃の創作活動での成果を多数展示しました。また、利用者も見学に足を運び、皆の作品を見たり、自分の作品が飾られているのを見たりして楽しみました。



偏…集…後…記…

新年が始まり、早いもので2ヶ月が経とうとしています。インフルエンザもまだまだ流行中。皆さん、お体に留意なさって、元気にお過ごしください。そして桜が咲く頃を楽しみに待ちましょう！

行事予定

- 2月 作業所保護者会・職員合同研修会
- 3月 辞令交付式